

ハイチ地震被災者支援の報告

1月12日にハイチで起きた地震に対し、WCRP日本委員会は、緊急勧募を行うと同時に、特定非営利活動法人ジェンと仏教NGOネットワーク(BNN)を通じて、被災された方々への支援を行うことを決定した。

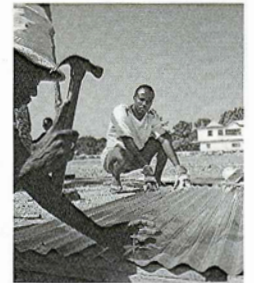
ジェン

ジェンは地震発生後すぐにハイチへの支援を決定し、1月17日にスタッフ3名を派遣。そこで目にした光景は、長年緊急支援に携わってきたスタッフも驚くほどの光景だった。家という家が破壊され、到着直後は人々の遺体も放置されたまま。また、多くの人々が生きながら瓦礫の下に埋められていた。



トラックに運びこまれる物資
(写真提供 ジェン)

治安の悪化やインフラの不足から、当初は被災の実態調査も支援事業も困難を極めたが、首都から50km離れ、60%以上の建物が崩壊し、支援の手が届いていない町グラン・ゴアープでの支援を決定した。被災者の自宅の損壊状況を、対1軒1軒調査し、対

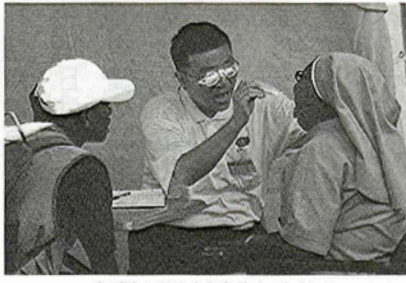


シエルターキットで家の補修をする受益者(写真提供 ジェン)

象となる世帯を特定した後、トタン板などの住居を作る材料と、ハンマー、ノコギリ、釘などをセットにした「シエルターキット」を配布。2月上旬には、市の中心部に住む700世帯(約4200人)に対し配布を完了した。

4月からは雨期が始まり、6〜7月頃にはハリケーンシーズンに突入する。未だ野外で生活を続けている人々が雨風を防ぐための住居が早急に必要である。ジェンでは、4〜5月を目標に、同グラン・ゴアープの山間部の人々を含む4000世帯を対象に、シエルターキットに木材を加えたセットの配布を完了する予定。

仏教NGOネットワーク(BNN)



無料で医療活動を実施
(写真提供 BNN)

仏教NGOネットワークは台湾に拠点を置く財団法人台湾仏教慈善事業基金会(以下慈済会)を通じ、復興支援を行っている。慈済会は、その活動方針に基づ



米、毛布、ビニールシートなどが配布された
(写真提供 BNN)

④世界的な救援募金活動を実施。具体的には、孤児院にトウモロコシ粉、調理油、粉ミルクなどの食料を配給、被災者1万人以上を対象にした大型無料診療活動、被災者が周辺地域を清掃することにより賃金と食料の提供を受ける雇用救援支援などを展開している。

さらに、中長期支援として、被災者の心のケア、子どもたちを貧困から救うための衛生・環境保護及び職業訓練などの教育支援、被災者が永住する家屋建設支援を展開している。

この度の緊急勧募で444万310円の支援金が寄せられました。誠にありがとうございました。ございました。支援金の使途については、上記2団体に100万円ずつ寄付するとともに、今後、更なる支援を検討しております。